

二〇〇九年七月三十一日
発行



第 92 卷 第 4 号 史学・地理学・考古学

論 説

- 明朝の対外政策と東アジアの国際秩序……………檀 上 寛 (1)
—朝貢体制の構造的理解に向けて—
- オリエンズ管区総監ルキアノス処刑事件……………南 雲 泰 輔 (36)
—ローマ帝国の東西分裂期における官僚の権力基盤—
- 一五世紀モロッコ北部における王権と遊牧民部族…篠 田 知 暁 (65)
—シャーウィーヤの形成を中心に—
- 近世中後期上方の幕府機構と京都・大坂町奉行……………小 倉 宗 (93)

書 評

- 高村武幸『漢代の地方官吏と地域社会』……………宮 宅 潔 (129)
- 巖 平『三高の見果てぬ夢』……………田 中 智 子 (136)
- 北村昌史『ドイツ住宅改革運動』……………中 野 隆 生 (144)

紹 介

- J. Deploige and G. Deneckere (eds.),
Mystifying the Monarch……………青 谷 秀 紀 (150)

史 学 研 究 会

京都大学大学院文学研究科内

会演説とこれに伴う儀礼を素材に、政治的実権をもちえない王の演説がもつ政治性を明らかにした Denekere の考察などがそれである。

編者の言葉を採用するなら、言説と社会慣行の絡まりを対象とし社会的なるものの復権をうたう「歴史主義的転回」Historical turn 以後の時代にあつて、本書は王権とどう古くて新しいテーマを料理するため選りすぐりのレシビ集といった趣も有している。王権に関心をもつ様々な地域・時代の専門家に一読をお薦めしたい。

(296 pp., 2006, Amsterdam University Press)

(青谷秀紀 清泉女子大学専任講師)

受 贈 誌

(二〇〇九年四月一六日)
二〇〇九年四月二七日)

- 栃木史学(國學院大學栃木短期大学史学会) 二二二
仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書 研究発表と座談会(代表 西上実) 三六
経済科学(名古屋大学大学院経済学研究科) 五六―四
岐阜経済大学論集(岐阜経済大学学会) 四二―三
栃木県立文書館研究紀要(栃木県立文書館) 一三
四五
栃木県立文書館だより(栃木県立文書館) 四
哲學研究(京都哲學會) 五八七
正倉院紀要(宮内庁正倉院事務所) 三二
松本市史研究(松本市) 一九
帝京史学(帝京大学文学部史学科) 二四
中央研究院 歴史語言研究所集刊(中央研究院歴史語言研究所) 八〇―一
大東文化大学漢学會誌(大東文化大学漢学会) 四八
国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民俗博物館) 一五〇
東アジア研究(大阪経済法科大学アジア研究所) 五一
栃木史学(國學院大學栃木短期大学史学会) 二二二
仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書 研究発表と座談会(代表 西上実) 三六
経済科学(名古屋大学大学院経済学研究科) 五六―四
岐阜経済大学論集(岐阜経済大学学会) 四二―三
栃木県立文書館研究紀要(栃木県立文書館) 一三
四五
栃木県立文書館だより(栃木県立文書館) 四
哲學研究(京都哲學會) 五八七
正倉院紀要(宮内庁正倉院事務所) 三二
松本市史研究(松本市) 一九
帝京史学(帝京大学文学部史学科) 二四
中央研究院 歴史語言研究所集刊(中央研究院歴史語言研究所) 八〇―一
大東文化大学漢学會誌(大東文化大学漢学会) 四八
国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民俗博物館) 一四八
オリエント(日本オリエント学会) 五一―二
東方學報(京都大学人文科学研究所) 八三
美術研究(東京文化財研究所) 三九七

会 告

去る六月二十五日に開催されました理事会・評議員会におきまして左記の事項が可決、承認されましたのでご報告申し上げます。

記

- 一、平成二十年度決算報告
- 一、平成二十一年度予算案
- 一、役員交代

1. 退任

常務理事

理事

評議員

- 南川高志(↓理事)、
小野澤透(↓評議員)
島田真杉、山田誠、
山中一郎、
吉本道雅(↓常務理事)、
江田憲治(↓理事)、
小方登(↓理事)、
岡村秀典(↓理事)、
谷川穰(↓常務理事)、
横山良、
吉川真司(↓理事)、
水本邦彦、若尾祐司、
吉本道雅、堀内隆行、
山口育人、
庶務委員
石田俊、丹治美玲、
南雲泰輔、稲畑航平、
井上治、南都奈緒子

2. 新任

常務理事

理事

評議員

編集委員

庶務委員

- 吉本道雅、谷川穰、
江田憲治、小方登、
岡村秀典、南川高志、
吉川真司、
池内敏、上島享、
大津留厚、小野澤透、
金澤周作、和田光弘、
高嶋航、佐野光直、
富永望、
上野大輔、野口優、
山本章子、河野正訓、
小野容照、網島聖

一、会則の改正

総会での承認をまつて誌面に掲載
します。

編 集 後 記

九二巻四号をお届けします。編集の号担当は責任重大な仕事であります。編集の号の論考を一番に通読できるといふ特権があります。歴史地理学を専門とする私にとつて、本号に地理学の論考がなかったのは多少残念なことではありましたが、本研究対象の時代も場所もまったく異なる優れた諸論考の読者第一号になれたのは大変幸せな

ことでした。他分野の議論というのは、本
当に勉強になります。

会員の皆様からの投稿によつて成り立っている『史林』は、本号のように多岐の分野の論考が載るような場合も、また図らずも特定の分野の論考が集まるような場合もあります。次号はどのような内容になるのでしょうか。本号を読み終えた皆様、次号完成までしばらくお待ちくださいませ。(上杉和央)

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.soc.ni.ac.jp/shr/index.html>

本誌には独立行政法人日本学術振興会
平成二十一年度科学研究費補助金(研究
成果公開促進費)が交付されております。

二〇〇九年七月二五日印刷
二〇〇九年七月三二日発行 定価一、二〇〇円

史 林 第九二巻第四号(連巻第四七六号)

京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学研究科内
電話 (〇七五) 七五三、二七八七
FAX (〇七五) 七五三、二七八七

発行人 史 学 研 究 会

振替京都 〇一〇七〇二一五五番
理事長 藤 井 讓 治

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上鳥羽藤田二丁目

史学研究会大会・総会のお知らせ

左記のごとく、本年度の史学研究会大会および総会を開催いたしますので、多数ご参加ください。

日時 二〇〇九年十一月二日（月）午後一時より

場所 京都大学文学部 新館第三講義室

公開講演

歴史とは何か

——「時」を秩序立てる行為の意味を考える

紀平英作氏（京都大学）

近世東アジアの疾病空間

——天然痘・麻疹の流行をめぐる中心と周辺

小林 茂氏（大阪大学）

史学研究会

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XCII No. 4

July 2009

CONTENTS

Articles :

- DANJO Hiroshi, Foreign Policy of the Ming Dynasty and
International Order in East Asia:
Towards an Understanding of the Tribute System (1)
- NAGUMO Taisuke, The Execution of Lucianus *comes Orientis* (36)
- SHINODA Tomoaki, Pouvoir dynastique et tribus nomades au nord du Maroc
au XV^e siècle: Sur la formation d'un groupe tribal dit « Šāwīyyah » (65)
- OGURA Takashi, The Machi Bugyo of Kyoto and Osaka and the
Organization of the Shogunate Government in the Kamigata
Region during the Later Part of the Early Modern Period (93)

Book Reviews :

- TAKAMURA Takeyuki, *Local Petty Officials and Regional Society during the
Han Dynasty* (MIYAKE Kiyoshi) (129)
- YAN Ping, *The Endless Dream of San-Ko* (TANAKA Tomoko) (136)
- KITAMURA Masafumi, *Die deutsche Wohnungsreformbewegung*
(NAKANO Takao) (144)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

定価 1,200円(税込)

ISSN 0386-9369